

朝鮮委員の拾遺

取捕へ店頭へ陳列致候候 京城明治町 一丁目 兎る里德商店

兎る里德商店

招き赤十字社業の爲め社員の勸募募集
招き赤十字社業の爲め社員の勸募募集
招き赤十字社業の爲め社員の勸募募集

東拓委員の拾遺

東拓委員の所任は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

東拓會社と定款

東拓會社は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

馬券廢止令

馬券廢止令は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

皇親の德壽宮行幸

皇親の德壽宮行幸は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

統監の消息

統監の消息は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

阪谷男爵一行

阪谷男爵一行は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

李完用の魂膽

李完用の魂膽は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

軍部移轉完了

軍部移轉完了は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

衛戍病院移轉

衛戍病院移轉は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

議院選舉集報

議院選舉集報は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

公民會の不都合

公民會の不都合は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

軍部移轉完了

軍部移轉完了は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

憲兵補助員通達規則

憲兵補助員通達規則は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

英領司令官の入京

英領司令官の入京は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

村田少將の旅行談

村田少將の旅行談は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

米總領事日本行

米總領事日本行は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

李軍相の發期

李軍相の發期は、朝鮮に在る日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。委員は、朝鮮の事情を熟知し、日本人の利益を保護し、朝鮮の発展に資するものなり。

青楓作

(三)
實測したる結果と昨年及平年九月に於
氣候とを對照すれば左の如し
四十二年 四十年 平
項 目 六三 六六

ける
は前以て承知ありたしといふや否や露城には入らずに第一務に立ち歸つた國に何分
も房内に侵入し金目の品物を持ち行けるが察し權力で終つて貰ひたしと
其の中自分の品物も含めあれは何とぞして大膽手な疑ひを並べ居るにぞ警察官も持
取り戻して貰ひたしと涙ながらに申し立て餘し居るぞか

●飲食店のたふ 大平町一丁目六十四番
地飲食店高田ミツ子(こ)は平常より横着もの
どの評判高かりし此奴不都合千高にも去

大阪佛教取次所
左文字屋
取次電話八四九五



電話(五七一番)

これと陳謝した、それから云ふものは、此の志士某は人と語る毎に、涕を零して秋風の殘候を稱揚したと云ふてござります。借東京留學生中の秋風は、年は若し、總般は宜し、支那學生中の眞影を稱へられた上に、益等の功を積みて學問には根底が出来、それだけ品行方正であつたので、頗る國秀の聞かを尊へたので、爰に秋風をして日本を去るを尊へたが、實に一大事が起つた、それは「昨々冬」の留學生取締規則であつた、當時一萬餘の支那留學生は、市内到る所に散在して、怪し氣な學校に通ひ、一朝卒業歸國の時、日本の大學でも卒業して来たやうな顔をする、云ふ通算があつたので、日本政府は留學生相手の學校に制限を加へ、兩後の筈のやうに殖れた無資格の學堂を解散せしめたので、二三年の學歴を滅しめて、多くの學費は結局逸者流に、幸つて先生、腹を肥したに終つた云ふを、直ちに接に見たのだから、女俠秋阿條賊正にして居らう、大に不平をならし斷然袖を拂つて支那に歸つた。

龜屋の
西洋酒部
食料品部
電話八二七番

品質精選
薪炭

京城南山町三丁目
令川西商店

統監府御用
薪炭